

39点の作品を市に寄贈いただいた酒井 榮一さんのお話を伺いました

◆工芸作家 (ろうけつ染め)

さ か い え い
酒井 榮

い ち



100歳の記念に、ふるさと守山に創作活動の足跡を残す

工芸作家 酒井 榮一

着物の絵付けなどに用いられるろうけつ染の技術で絵画作品を創作する工芸作家。山賀町にアトリエを構え、守山市文化協会の創立にも尽力した。

●主な業歴

守山市立守山女子高校 講師
現代美術工芸家協会 会員
県工芸美術協会 会長
日展 22回 入選
日本文化庁地域文化功労章 受賞
エコールフランセーズ大賞 受賞
世界平和芸術賞 受賞

●主な作品の寄贈先

市役所(関連施設含む) 8点
公文書館 6点
市立図書館 5点
小学校(こども園) 9点
地区会館 9点
大庄屋諏訪家屋敷 2点

まちの文化を向上させたいという僕の思いが残せたらと思います。

守山市山賀町に生まれ

工芸作家としてアトリエを構えて作品を作り続け、節目の100歳を迎える事ができた記念に寄贈をしようと思いました。昨年、長寿のお祝いに来てくれた市の職員に相談して寄贈を決めました。多くの人に観てもらおう事で、

ろうけつ染め
いつのは

蛸や顔料を使った古典工芸の技法で着物や額、屏風などどんな作品にもなります。技法そのものは習い事で習得できても感性はその人だけのもの。例えばバラを作品にするときは、僕のバラになるまで何枚も何枚も写生します。それから想像力と五感の発想で遊び、構図を決めて、下絵、本下絵染めと乾燥を繰り返して仕上げます。

地元で作品を創り続けたい

ずっとそう思っていて百点以上を創作してきましたが、芸術家を志していたわけではありませんでした。創作活動を続けていたら、東京や大阪からも習いに来る人ができ、いろいろな賞をもらうようになりました。京都・滋賀、地元守山など各地域の美術展覧会の審査員も務めてきました。

酒井 榮一 記念作品展

時5月15日(水)~20日(月)

午前10時~午後5時(最終日は午後3時)

所市立図書館 多目的室

寄贈作品(39点)の一部をご紹介します



「羽撞」



「チャイコフスキー作品六四」



「創」



「カトレア」